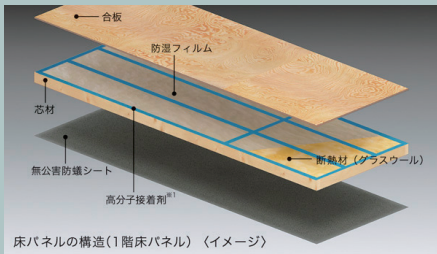


ミサワホーム独自の木質パネル接着工法



一体構造を形成する構造躯体

TFC Mobile Unitはミサワホームの構造躯体を構成する木質パネル接着工法を用いた「モノコック構造」となっています。
ミサワホームの住宅と同じ木質パネルにより、高い断熱性と気密性を持ち、モバイルユニット自体も軽量化を図り設計自由度の高い高性能なトレーラーハウスを実現しています。



床パネルの構造 (1階床パネル) <イメージ>

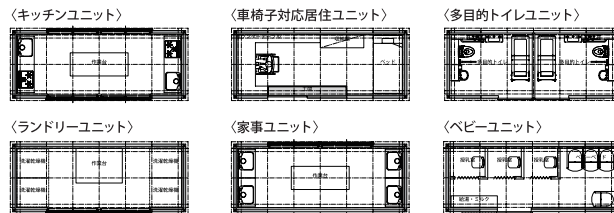


床面・壁面・天井面を強固に接合

床パネルの構造 (1階床パネル)



ミサワホームの技術を活かした構造躯体



トレーラーハウスのメリット

- 車両として扱われる為、普段建物を建てることのできない土地にも家を持てる
- 「車両」として扱われる為、固定資産税・不動産取得税などの税金の対象外になる
- 簡易基礎への接続工事が可能なので、仮設住宅への転用が可能

TFCモバイルユニットの特徴

- ミサワホームの構造躯体と同じ高品質・高精度の工業化された木質パネル構造
- ユニット部はシャーシから脱着可能な分離型車検付積載トレーラー (押し式ツイストロック機構搭載)
- ユニット寸法は規格型3タイプ (内外装の設計はフリープラン対応可)
- グランピング、シェアオフィス、ポップアップショップ他 災害時の地域共生にも対応



シャーシから脱着可能な分離型ユニット

TFC Mobile Unit

「移動できる家」、トレーラーハウス。

FOR LIFE.



「移動できる家」、 トレーラーハウス。

豊かに、安全に。暮らしの可能性を
高めるアイデアがここに。

TFC Mobile Unit FOR LIFE.

TFC(テクノエフアンドシー) Mobile Unit はミサワホーム独自の
木質パネル構造により、さらに将来性を持った
トレーラーハウスとして完成しました。
需要に応じて設置場所を気軽に変更できることから、
様々な用途において注目されるトレーラーハウスですが、
グランピングなどのレジャー向けや店舗用から、
災害時における体育館、公民館などの避難所や仮設住宅など
幅広く取り入れられています。

トレーラーハウスの可能性その③

災害時における連携、 地域共生を考える



トレーラーハウスの可能性その①

デュアルライフや グランピングで高まる注目

近年、住居のある都市部から離れた郊外との二拠点生活や、
グランピングなどでトレーラーハウスが活用されています。
テントと比較して広々とした快適な空間を提供できるほかに、
掃除や手入れなどの手間もかかりにくいため、
運営面でもメリットを見出されています。



トレーラーハウスの可能性その②

変革するワーケーション 環境の拡充

遊休地の資産活用や新しい土地活用手段、
ショッピングモール、コンビニ駐車場の有効活用、
郊外サテライトオフィスの設置などにおいて
トレーラーハウスが注目されています。

設置場所にある程度自由度があり、すぐに設置できるなど、仮設住宅として近年需要が高まっています。平時はレジャーなどに用いながら、災害時には仮設住宅としての活用にも役立てるなどの連携が考えられます。熊本地震の被災地である益城町では、一般の避難所では対応できない妊産婦や介護の必要な高齢者などを対象とする福祉避難所として、日本で初めてトレーラーハウスが導入されました。